

第 28 回 多摩デポ講座

『国立国会図書館の蔵書デジタル化計画と まちの図書館、読書の未来』パート2

講 師：徳原直子氏

(国立国会図書館電子情報部電子情報企画課)

国立国会図書館の蔵書は、すでに約 250 万点がデジタル化されています。2016 年 3 月に発表された「資料デジタル化基本計画 2016-2020」によれば、さらに今後 5 年で 1980 年代までの刊行図書、刊行後 5 年以上経過した雑誌、古典籍、録音・映像資料などがデジタル化対象となり、現在それが実施中です。検索利便性向上も図られ、目次情報テキストデータ作成、メタデータ充実、官庁出版物・非商用学術出版物の本文検索を目的とした本文のデータ化なども行われていく予定です。

国立国会は自館資料についてやれることを継続中のようです。一方で、デジタル化した原資料の印刷物は保存のために提供されなくなっていきます。

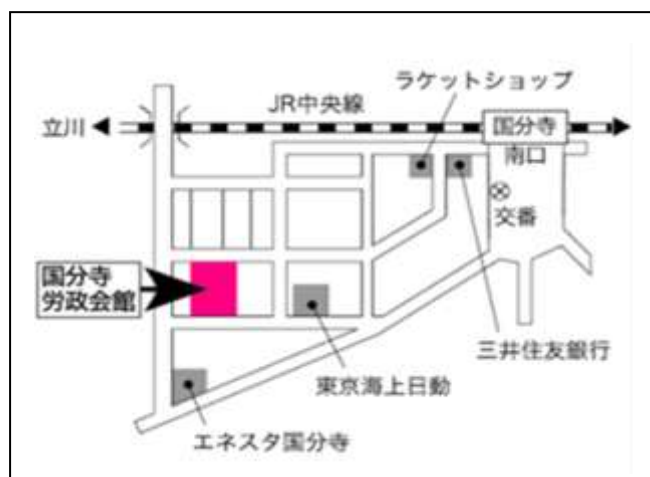
多摩デポは、地域の図書館の中で利用のために原資料の共同保存を考えてきました。「図書館向けデジタル化資料送信サービス」による絶版等資料の提供は、いま全国の図書館にどこまで普及しているでしょう。デジタルは原資料の代替になれるでしょうか？

昨年 11 月に開催した講座パート 2 として、率直に語ってもらえる徳原直子に再度おいでいただき、国立国会デジタル化の現状や見通しを伺います。開かれる可能性をともに考えながら、今後も市町村や都立の図書館に期待すること、現物保存の意味、私たちの将来の読書の姿などについて、考えてみませんか。徳原氏の詳細な前回配布資料をホームページで公開中。

日 時： 2月3日(金) 午後6時45分～8時30分

(開場 午後6時30分)

会 場： 国分寺労政会館 3階第3会議室 (JR国分寺駅・南口より 徒歩5分)



参加費無料/事前申込不要/日直接会場へ
会員でなくても、どなたでも参加できます

主催：特定非営利活動法人
共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

●HP：<http://www.tamadepo.org/>

●E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp

●FAX：042-484-3945